

# 第2期福岡県肝炎対策推進計画 素案の概要

# 第2期福岡県肝炎対策推進計画(素案)

【全体目標】 「ウイルス性肝炎の早期発見、早期治療等により、肝がん(肝及び肝内胆管)による死亡率(75歳未満年齢調整死亡率)を6年間で**30%減少**」

## 1 肝炎ウイルス検査の促進

### 個別目標

- ①肝炎ウイルス検査の受検機会の確保
- ②陽性者の精密検査受診率100%

### 具体的な取組項目

- ①肝炎ウイルス検査に関する広報活動の強化
- ②職域等での受検機会の拡大
- ③肝炎ウイルス検査の陽性者に対する専門医療機関への受診勧奨
- ④初回精密検査費及び定期検査費助成制度の継続実施
- ⑤職域におけるプライバシー配慮の徹底

## 2 適切な肝炎医療の提供

### 個別目標

- ①拠点病院と専門医療機関及び治療医療機関等との連携強化
- ②新規肝炎医療コーディネーターの養成(900人)

### 具体的な取組項目

- ①拠点病院と専門医療機関及び治療医療機関等における情報の共有
- ②拠点病院及び専門医療機関から治療医療機関へ技術的支援
- ③抗ウイルス療法等の推進
- ④肝疾患相談支援センターにおける受診継続支援
- ⑤肝炎患者支援手帳の継続的活用
- ⑥肝炎医療コーディネーターの養成セミナー等の実施
- ⑦肝炎等治療医療費助成制度の実施

## 3 肝炎に関する正しい知識の更なる普及啓発

### 個別目標

- ①県民への正しい知識の普及、効果的な啓発
- ②肝炎に関する相談・支援体制の周知

### 具体的な取組項目

- ①世界肝炎デー・日本肝炎デー及び肝臓週間における啓発活動の実施
- ②感染予防についての普及啓発
- ③ハイリスクな方への啓発
- ④職域との連携推進
- ⑤肝疾患相談支援センター、肝炎医療コーディネーターの県民への周知
- ⑥肝炎患者等に対する偏見や差別の解消

## 4 肝炎患者及び家族等に対する相談支援や情報提供の充実

### 個別目標

- ①肝疾患相談支援センターによる相談支援
- ②新規肝炎医療コーディネーターの養成(900人)

### 具体的な取組項目

- ①肝疾患相談支援センターにおける就労等の相談支援
- ②肝炎患者支援手帳の継続的活用
- ③肝炎医療コーディネーター養成セミナー等の実施

## 計画策定の趣旨

本県では平成30年3月に策定した「福岡県肝炎対策推進計画」に基づき、肝炎対策を進めてきた。令和4年3月に国の「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」が改正され、また同計画の計画期間が令和5年度をもって満了する。このことから本県における肝炎対策を総合的、計画的に進めるため、基本的な方向性を示す第2期計画を策定するもの。

## 計画の位置づけ

肝炎対策基本法4条(地方公共団体の責務)の規定及び肝炎対策の推進に関する基本的な指針に基づき策定。

本計画を、福岡県がん対策推進計画の実施計画として位置付け、その実施にあたっては、福岡県がん対策推進計画や福岡県保健医療計画等、関連する計画との調整、連携を図る。

## 計画の期間

令和6年度から令和11年度までの6年間の計画とする。  
必要があれば、期間経過前に計画の見直しについて検討を行う。

## 1 肝炎と肝がん

- ・肝炎ウイルス持続感染者数推計
- ・肝がんによる死亡数の年次推移
- ・肝がん75歳未満年齢調整死亡率の年次推移

## 2 本県の取組

### (1) 肝炎対策体系図

### (2) 肝炎ウイルス検査事業

- ・保健所、市町村、委託医療機関の検査実績

### (3) ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業

- ・肝炎ウイルス陽性者の精密検査受診率
- ・初回精密検査及び定期検査受診証明書交付件数

### (4) 肝炎治療特別促進事業

- ・肝炎治療受給者証交付件数

### (5) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

- ・参加者証交付件数

### (6) 医療連携体制の整備

### (7) 福岡県肝炎対策協議会

### (8) 広報・普及啓発

### (9) 相談・支援体制

- ・肝疾患相談支援センターにおける相談対応件数
- ・肝炎医療コーディネーター認定者数

### 全体目標

「肝がん(肝及び肝内胆管)の75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)を6年間で**30%減少**」

- ・本県の肝がん(肝及び肝内胆管)の75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)の直近5年間の減少率31%を勘案

### 基本的な方向性

- (1) 肝炎ウイルス検査の促進
- (2) 適切な肝炎医療の提供
- (3) 肝炎に関する正しい知識の更なる普及啓発
- (4) 肝炎患者及び家族等に対する相談支援や情報提供の充実

# 1 肝炎ウイルス検査の促進

## 個別目標

- ・肝炎ウイルス検査の受検機会の確保
- ・陽性者の精密検査受診率100%

## 今後の取組

- (1) 肝炎ウイルス検査に関する広報活動の強化
  - ポスターやリーフレットを活用した広報活動の強化
  - 医療保険者や事業主等と協力した受検促進
- (2) 職域等での受検機会の拡大
  - 県内無料ウイルス検査、健康増進事業における肝炎ウイルス検査の実施
- (3) 肝炎ウイルス検査の陽性者に対する専門医療機関への受診勧奨
  - 陽性者に対する受診勧奨
  - リーフレットの配布
  - フォローアップの継続実施
- (4) 初回精密検査費及び定期検査費用助成制度の継続実施
  - 初回精密検査費及び定期検査費用の助成
- (5) 職域におけるプライバシー配慮の徹底
  - 職員の健康管理担当機関に対する情報提供

## 2 適切な肝炎医療の提供

### 個別目標

- ・拠点病院と専門医療機関及び治療医療機関等との連携強化
- ・肝炎医療コーディネーターの養成（令和6年度～11年度の6年間で900人の養成）

### 今後の取組

- (1) 拠点病院と専門医療機関及び治療医療機関等における情報の共有  
○研修会等の開催による最新の情報提供
- (2) 拠点病院及び専門医療機関から治療医療機関へ技術的支援  
○地域に応じた肝疾患医療連携体制の強化
- (3) 抗ウイルス療法等の推進  
○核酸アナログ製剤治療(B型)等およびインターフェロンフリー治療(C型)等の推進

## 2 適切な肝炎医療の提供

### 個別目標

- ・拠点病院と専門医療機関及び治療医療機関等との連携強化
- ・肝炎医療コーディネーターの養成（令和6年度～11年度の6年間で900人の養成）

### 今後の取組

- (4) 肝疾患相談支援センターにおける受診継続支援
  - 相談支援の継続
- (5) 肝炎患者支援手帳の継続的活用
  - 肝炎患者等への配布
- (6) 肝炎医療コーディネーター養成セミナー等の実施
  - コーディネーター養成セミナー及びフォローアップセミナーの開催
  - コーディネーターの専門医療機関への配置
  - コーディネーター間の情報共有や連携しやすい環境整備
- (7) 肝炎等治療医療費助成制度の実施
  - 肝炎治療医療費助成制度の継続実施
  - 肝がん・重度肝硬変治療研究事業の実施

### 3 肝炎に関する正しい知識の更なる普及啓発

#### 個別目標

- ・県民への正しい知識の普及、効果的な啓発
- ・肝炎に関する相談・支援体制の周知

#### 今後の取組

- (1) 世界肝炎デー・日本肝炎デー及び肝臓週間における啓発活動の実施
  - テレビやラジオ等による集中的な啓発
- (2) 感染予防についての普及啓発
  - 日常生活上の感染予防の啓発
  - 高齢者施設や保育施設向けのガイドラインの活用
  - ピアスの穴開け、入れ墨、性行為等による感染の危険性についての啓発
- (3) ハイリスクな方への啓発
  - 感染リスクに対するB型肝炎ワクチンの有効性、安全性、肝炎ウイルス検査の必要性の啓発
- (4) 職域との連携推進
  - 医療保険者や事業主等との協力
- (5) 肝疾患相談支援センター、肝炎医療コーディネーターの県民への周知
  - コーディネーターの育成
  - SNSや広報誌の活用
- (6) 肝炎患者等に対する偏見や差別の解消
  - 関係機関と連携し、様々な機会を利用した啓発及び人権の尊重に係る取組の推進

## 4 肝炎患者及び家族等に対する相談支援や情報提供の充実

### 個別目標

- ・肝疾患相談支援センターによる相談支援
- ・肝炎医療コーディネーターの養成(令和6年度～11年度の6年間で900人の養成)(再掲)

### 今後の取組

- (1) 肝疾患相談支援センターにおける相談支援
  - 医療費助成等の制度の情報提供
  - 新たな治療法の適切な情報提供や相談支援
- (2) 肝炎患者支援手帳の継続的活用(再掲)
  - 肝炎患者等への配布
- (3) 肝炎医療コーディネーター養成セミナー等の実施(再掲)
  - コーディネーター養成セミナー及びフォローアップセミナーの開催
  - コーディネーターの専門医療機関への配置
  - コーディネーター間の情報共有や連携しやすい環境整備

### 3 今後の計画策定スケジュール

